

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年5月10日

上場会社名 株式会社システムリサーチ 上場取引所 東
 コード番号 3771 URL <https://www.sr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報室 (氏名) 太田 吉信 (TEL) 052-413-6820
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月6日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	21,556	17.1	2,501	20.3	2,515	19.0	1,601	7.3
2022年3月期	18,405	13.9	2,078	32.6	2,113	32.9	1,492	36.9

(注) 包括利益 2023年3月期 1,502百万円(2.1%) 2022年3月期 1,471百万円(15.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	191.61	—	18.5	18.5	11.6
2022年3月期	178.52	—	19.5	17.5	11.2

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	14,181	9,135	64.3	1,091.55
2022年3月期	12,884	8,134	63.0	972.05

(参考) 自己資本 2023年3月期 9,123百万円 2022年3月期 8,124百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,796	△273	△501	7,336
2022年3月期	1,287	△254	△526	6,314

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	501	33.6	6.5
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	585	36.5	6.7
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		32.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,948	4.3	803	△24.8	803	△24.8	580	21.4	69.41
通期	23,815	10.4	2,516	0.5	2,542	1.0	1,817	13.4	217.47

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	8,360,000株	2022年3月期	8,360,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	2,008株	2022年3月期	1,928株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	8,358,016株	2022年3月期	8,358,072株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期	20,936	15.3	2,493	20.4	2,499	19.1	1,603	5.1
2022年3月期	18,158	12.4	2,070	32.6	2,098	32.8	1,525	40.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	191.89		—					
2022年3月期	182.50		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭	円 銭	
2023年3月期	14,131		9,150		64.7	1,094.78		
2022年3月期	12,653		8,049		63.6	963.02		

(参考) 自己資本 2023年3月期 9,150百万円 2022年3月期 8,049百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	
第2四半期(累計)	10,934	7.3	801	△23.6	578	23.2	69.25	
通 期	23,786	13.6	2,535	1.4	1,814	13.1	217.04	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年5月17日（水）に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
4. その他	12
生産、受注及び販売の状況	
① 生産実績	12
② 外注実績	12
③ 仕入実績	12
④ 受注実績	13
⑤ 販売実績	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、ウィズコロナの下で行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進む中、国内旅行支援や海外からの入国制限の緩和など各種施策の効果により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、原材料価格やエネルギー価格の高騰、サプライチェーンの混乱による部品の供給制約、記録的な円安と金融資本市場の変動など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計」によると2023年2月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比3.2%増と11か月連続して増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は前年同月比6.1%増加となったものの、「ソフトウェアプロダクツ」は同8.9%減少、「システム等管理運営受託」は同0.5%減少となり、DX（デジタルトランスフォーメーション）技術を活用した業務プロセスやビジネスモデルの変革が進む中、企業のIT投資需要は引き続き旺盛であるものの、業務種類ごとに増減が分かれる結果となりました。

このような環境の中、当社グループの業務区別売上高につきましては、企業のシステム構築を中心とするSIサービス業務は、当社の主要顧客である製造業、金融業などからの請負案件の受注が増加したことから、8,220百万円（前年同期比14.3%増）となりました。ソフトウェア開発業務は、既存顧客からの保守・メンテナンス業務を安定的に受注出来たことに加え、昨年1月にゼネラルソフトウェア株式会社を子会社化したことにより売上高は12,393百万円（前年同期比19.3%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、通販業向け販売・顧客管理ソフト「Simplex」の売上等により売上高は343百万円（前年同期比8.7%増）となりました。商品販売ではパソコン・情報機器、ソフトウェア等の商品仕入れ販売により、363百万円（前年同期比18.9%増）、その他のWEBサイトの運営ならびにクラウドサービス（SaaS）等では、新規オンラインショップ開設数、GMV（流通取引総額）が増加したことから、売上高は234百万円（前年同期比12.4%増）となりました。利益面におきましては、受注量の増加に伴い技術者の稼働率が高い水準を維持していること、PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動による不採算プロジェクトを発生させない取り組みなどにより、安定した利益を計上しました。一方、確定給付企業年金制度から確定拠出年金制度へ移行したことに伴い、特別損失として退職給付制度終了損363百万円を計上いたしました。

以上の結果、当期における連結業績は、売上高21,556百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益2,501百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益2,515百万円（前年同期比19.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,601百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金および売掛金が増加したことなどにより、14,181百万円（前期末比1,297百万円増）となりました。

当連結会計年度末の負債は、賞与引当金およびその他が増加したことなどにより、5,046百万円（前期末比295百万円増）となりました。

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、9,135百万円（前期末比1,001百万円増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,021百万円増加し、7,336百万円（前年同期末は6,314百万円）となりました。

また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、1,796百万円（前年同期は1,287百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,152百万円、退職給付制度終了損363百万円などの増加要因が、売上債権の増加による減少額454百万円、法人税等の支払額703百万円などの減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、273百万円（前年同期は254百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出210百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、501百万円（前年同期は526百万円の減少）となりました。これは主に、長・短期借入れによる収入1,780百万円、長・短期借入金の返済による支出1,780百万円や配当金の支払額501百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に引き下げられること等の施策により、景気が持ち直していくことが期待されます。一方で原材料価格の高騰によるインフレ圧力や、欧米各国の金融引き締めによる世界経済の減速が、わが国の景気を下押しするリスクが懸念され、先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。そのような中でも企業のIT投資については、DX技術を利用した業務効率・生産性向上への強い意欲や、企業のレガシーシステム刷新等、企業の競争力維持・強化のための投資需要は、今後も継続するものと見込まれます。

上記を踏まえ、当社グループの連結業績見通しにつきましては、連結売上高23,815百万円（前年同期比10.4%増）、連結営業利益はEC事業拡大のための広告宣伝費増加などにより2,516百万円（前年同期比0.5%増）、連結経常利益2,542百万円（前年同期比1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,817百万円（前年同期比13.4%増）となる見込みであります。

また、通期の単独業績見通しにつきましては、売上高23,786百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益2,518百万円（前年同期比0.9%増）、経常利益2,535百万円（前年同期比1.4%増）、当期純利益は1,814百万円（前年同期比13.1%増）となる見込みであります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、剰余金の配当等を取締役会の決議により行う旨を定款に定めており、株主の皆様への利益還元を重要な資本政策の一つと位置付けております。また、利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本利益率の向上を図ると共に、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めることを基本方針とし、利益配当額を決定しております。

当事業年度の配当金につきましては、2023年1月31日の「2023年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、年間配当金を70円といたします。なお、次期の年間配当予想につきましては、1株当たり70円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,349,386	7,371,297
売掛金	3,653,461	4,100,919
契約資産	318,931	320,001
商品	1,886	2,948
貯蔵品	5,265	6,397
その他	87,126	102,975
貸倒引当金	△384	△427
流動資産合計	10,415,672	11,904,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	909,020	903,391
減価償却累計額	△511,289	△528,826
建物及び構築物（純額）	397,730	374,564
土地	540,661	746,460
その他	170,593	164,789
減価償却累計額	△132,713	△142,870
その他（純額）	37,879	21,919
有形固定資産合計	976,272	1,142,943
無形固定資産		
のれん	311,288	245,754
ソフトウェア	112,650	137,156
その他	7,128	6,941
無形固定資産合計	431,066	389,852
投資その他の資産		
投資有価証券	38,227	13,489
退職給付に係る資産	505,364	—
繰延税金資産	306,957	513,243
その他	211,095	218,118
投資その他の資産合計	1,061,645	744,851
固定資産合計	2,468,984	2,277,647
資産合計	12,884,657	14,181,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	821,770	885,608
1年内返済予定の長期借入金	780,562	741,676
未払法人税等	445,251	458,257
賞与引当金	1,003,145	1,130,038
その他	1,033,820	1,169,550
流動負債合計	4,084,550	4,385,131
固定負債		
長期借入金	622,162	661,036
退職給付に係る負債	43,646	—
固定負債合計	665,808	661,036
負債合計	4,750,359	5,046,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	6,950,163	8,050,238
自己株式	△1,093	△1,252
株主資本合計	8,016,769	9,116,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,622	6,545
退職給付に係る調整累計額	100,102	—
その他の包括利益累計額合計	107,725	6,545
非支配株主持分	9,803	12,360
純資産合計	8,134,298	9,135,592
負債純資産合計	12,884,657	14,181,759

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	18,405,466	21,556,087
売上原価	14,287,426	16,740,363
売上総利益	4,118,039	4,815,724
販売費及び一般管理費	2,039,764	2,314,220
営業利益	2,078,275	2,501,504
営業外収益		
受取利息	13	16
受取配当金	421	542
助成金収入	37,930	14,569
保険配当金	—	2,955
その他	7,478	4,397
営業外収益合計	45,843	22,481
営業外費用		
支払利息	7,910	7,910
保険解約損	1,708	—
その他	959	261
営業外費用合計	10,578	8,171
経常利益	2,113,540	2,515,813
特別利益		
固定資産売却益	—	76
投資有価証券売却益	—	2,260
特別利益合計	—	2,336
特別損失		
固定資産除却損	0	1,439
退職給付制度終了損	—	363,811
特別損失合計	0	365,251
税金等調整前当期純利益	2,113,540	2,152,899
法人税、住民税及び事業税	631,445	710,456
法人税等調整額	△11,973	△161,673
法人税等合計	619,471	548,783
当期純利益	1,494,068	1,604,116
非支配株主に帰属する当期純利益	1,941	2,556
親会社株主に帰属する当期純利益	1,492,127	1,601,559

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,494,068	1,604,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△793	△1,076
退職給付に係る調整額	△21,821	△100,102
その他の包括利益合計	△22,615	△101,179
包括利益	1,471,453	1,502,937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,469,511	1,500,380
非支配株主に係る包括利益	1,941	2,556

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	550,150	517,550	5,940,580	△1,093	7,007,186
会計方針の変更による累積的影響額			18,939		18,939
会計方針の変更を反映した当期首残高	550,150	517,550	5,959,520	△1,093	7,026,126
当期変動額					
剰余金の配当			△501,484		△501,484
親会社株主に帰属する当期純利益			1,492,127		1,492,127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	990,642	—	990,642
当期末残高	550,150	517,550	6,950,163	△1,093	8,016,769

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,415	121,924	130,340	7,862	7,145,389
会計方針の変更による累積的影響額					18,939
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,415	121,924	130,340	7,862	7,164,329
当期変動額					
剰余金の配当					△501,484
親会社株主に帰属する当期純利益					1,492,127
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△793	△21,821	△22,615	1,941	△20,673
当期変動額合計	△793	△21,821	△22,615	1,941	969,968
当期末残高	7,622	100,102	107,725	9,803	8,134,298

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	550,150	517,550	6,950,163	△1,093	8,016,769
当期変動額					
剰余金の配当			△501,484		△501,484
親会社株主に帰属する当期純利益			1,601,559		1,601,559
自己株式の取得				△158	△158
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,100,075	△158	1,099,916
当期末残高	550,150	517,550	8,050,238	△1,252	9,116,686

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	7,622	100,102	107,725	9,803	8,134,298
当期変動額					
剰余金の配当					△501,484
親会社株主に帰属する当期純利益					1,601,559
自己株式の取得					△158
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,076	△100,102	△101,179	2,556	△98,622
当期変動額合計	△1,076	△100,102	△101,179	2,556	1,001,294
当期末残高	6,545	—	6,545	12,360	9,135,592

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,113,540	2,152,899
減価償却費	103,321	96,867
のれん償却額	16,383	65,534
退職給付制度終了損	—	363,811
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	69	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	156,528	126,893
退職給付に係る資産負債の増減額	△27,140	△46,334
受取利息及び受取配当金	△434	△559
支払利息	7,910	7,910
保険解約損益 (△は益)	△1,117	—
固定資産売却益	—	△76
固定資産除却損	0	1,439
投資有価証券売却益	—	△2,260
売上債権の増減額 (△は増加)	△589,787	△454,722
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,975	△2,193
仕入債務の増減額 (△は減少)	205,263	65,005
その他の資産の増減額 (△は増加)	29,648	△18,628
その他の負債の増減額 (△は減少)	△226,624	151,683
小計	1,790,535	2,507,312
利息及び配当金の受取額	434	559
利息の支払額	△7,852	△7,944
法人税等の支払額	△495,930	△703,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,287,186	1,796,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,839	△210,680
有形固定資産の売却による収入	—	76
無形固定資産の取得による支出	△51,430	△79,748
投資有価証券の売却による収入	—	17,047
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△197,380	—
出資金の払戻による収入	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,650	△273,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	880,000	880,000
短期借入金の返済による支出	△880,000	△880,000
長期借入れによる収入	900,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△925,267	△900,012
自己株式の取得による支出	—	△158
配当金の支払額	△501,484	△501,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△526,751	△501,654
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	505,784	1,021,911
現金及び現金同等物の期首残高	5,808,602	6,314,386
現金及び現金同等物の期末残高	6,314,386	7,336,297

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	972円05銭	1,091円55銭
1株当たり当期純利益	178円52銭	191円61銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
連結貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	8,134,298	9,135,592
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	9,803	12,360
(うち非支配株主持分(千円))	(9,803)	(12,360)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,124,494	9,123,231
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	8,358,072	8,357,992

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,492,127	1,601,559
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,492,127	1,601,559
普通株式の期中平均株式数(株)	8,358,072	8,358,016

4. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	生産高(百万円)	前年同期比(%)
SIサービス業務	8,220	116.0
ソフトウェア開発業務	12,393	119.3
ソフトウェアプロダクト業務	343	108.7
その他	234	112.4
合計	21,192	117.8

(注) 金額は、販売価格によっております。

② 外注実績

当連結会計年度の外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	外注高(百万円)	前年同期比(%)
SIサービス業務	3,271	120.8
ソフトウェア開発業務	5,121	117.5
ソフトウェアプロダクト業務	56	98.9
その他	0	117.6
合計	8,451	118.6

③ 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
商品販売	301	127.7

(注) 金額は、仕入価格によっております。

④ 受注実績

当連結会計年度の受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)			
	受注高(百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	8,207	104.7	1,980	99.3
ソフトウェア開発業務	12,876	121.1	2,421	124.8
ソフトウェアプロダクト業務	347	111.0	105	103.2
商品販売	371	117.3	49	119.9
合計	21,802	114.1	4,557	111.8

⑤ 販売実績

当連結会計年度の販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	販売高(百万円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	8,220	114.3
ソフトウェア開発業務	12,393	119.3
ソフトウェアプロダクト業務	343	108.7
商品販売	363	118.9
その他	234	112.4
合計	21,556	117.1

(注) 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
㈱トヨタシステムズ	2,958	16.0	3,187	14.7